

感震ブレーカー等の選び方

ご家庭にどのタイプが合致するか以下のフローチャートを目安に検討してみましょう。

※下記フローチャートは各タイプの推奨順を示すものではありません。

スタート
START

自宅の分電盤に感震ブレーカーがついているか？

分電盤は、住宅の玄関、廊下、洗面所、キッチンなどに設置されることが多いです。ご自宅の分電盤には感震機能がついているか、「感震機能付住宅用分電盤・感震装置認定品リスト」を参照してご確認ください。

確認方法

- ①住宅用分電盤に感震装置がついているか
- ②住宅用分電盤の近傍に増設型の感震ブレーカーがないか

感震機能付住宅用分電盤・感震装置 認定品リスト（最新版）



ついている

ついていない

NEXT
STEP

- 製品の取扱説明書の記載に沿って動作確認をしてみましょう。
- 下部に記載しました「事前対策・留意事項」をご確認ください。



自宅に災害時でも電気を止めてはいけない機器があるか？

「ある」 人の例 バッテリーを備えていない医療用機器を使用しており、急に電気を遮断することが命に関わる方 など

ない

分電盤の買い換え/機能追加ができるか？

「できる」 人の例 持家の方（非賃貸）、住宅購入を検討中の方など

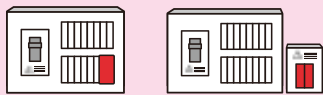
できる

できない

ある

分電盤タイプ

「内蔵センサー」で遮断



感震装置が内蔵されたもの
感震装置が外付けされたもの

特徴
感震装置が分電盤に内蔵されたもの、外付けされたものに大別される。センサーが揺れを検知し、主幹ブレーカーを落とすことで家中の電気を一括遮断する。

NEXT STEP

安心できる工務店・メーカー等に相談してみましょう

分電盤タイプが思ったより高額で手がでない…
住宅分電盤に感震装置が追加できない…

こういった場合は簡易タイプ・コンセントタイプも検討してみましょう

簡易タイプ

「おもり落下」で遮断
「パネ作動」で遮断



特徴
分電盤に直接設置する。おもりの落下、パネの作動によって主幹ブレーカーを落とすことで家中の電気を一括遮断する。

NEXT STEP

メーカーの製品を見て購入を検討してみましょう

（一財）日本消防設備安全センターによる

簡易タイプ

コンセントタイプ

の推奨品はコチラ

※自治体で感震ブレーカーに関する補助を行っている場合があります。詳しくは、お住まいの自治体ホームページ等をご確認ください。

コンセントタイプ

「内蔵センサー」で遮断



特徴
コンセントに設置する。内蔵されたセンサーが揺れを検知し、機器に接続した電熱器具等のみを対象に電気を遮断する。

NEXT STEP

メーカーの製品を見て購入を検討してみましょう



事前対策・留意事項

感震ブレーカー等の設置に際しては、急に電気が止まっても困らないための対策と合わせて取り組むことが必要です。

- ・生命の維持に直結するような医療用機器を設置している場合、停電に対処できるバッテリー等を備えてください。
- ・夜間の照明確保のために、停電時に作動する足元灯や懐中電灯などの照明器具を常備しましょう。

耐震対策等と合わせて取り組むとさらに効果的です。

- ・避難路の確保等のために、建物の耐震化や家具の転倒防止等に取り組みましょう。
- ・復電する場合には、事前にガス漏れ等がないことの確認や、電気製品の安全の確認を行ってください。
- ・仮に復電後、焦げたような臭いを感じた場合には、直ちにブレーカーを遮断し、再度安全確認を行いましう。原因が分からない場合には電気の使用を見合わせる必要があります。
- ・定期的な作動性能の確認や、必要に応じて部品等の交換を行いましう。
- ・蓄電池を設置した住宅については、感震ブレーカーを設置した場合であっても、通電する仕様となっている場合があります。地震発生時に蓄電池から供給される電気についても停止することが望ましい場合がありますので、ご注意ください。

内閣官房



内閣府



FDMA
住民とともに

総務省消防庁
Fire and Disaster Management Agency



経済産業省



国土交通省

このチラシに関するお問合せ先 内閣府政策統括官（防災担当）TEL：03-5253-2111（大代表）

ホームページ：https://www.bousai.go.jp/jishin/kanshin_breaker.html

詳しくは
コチラ

